



セカンドブックリスト

1

『えらいこっちゃんのいちねんせい』

かさい まり 文・ ゆーち みえこ 絵 (アリス館)

小学校って「えらいこっちゃん」がいっぱい！ やることも時間も決まっていたり、授業中にトイレに行きたくてもガマンしたり、学校内で迷子になったり…。初めて小学校に行く子どものがんばりを描いた絵本。

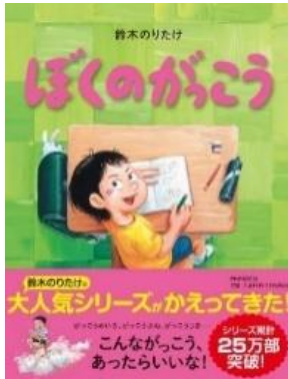


2

『ぼくのがっこう』

鈴木 のりたけ 作・絵 (PHP 研究所)

毎日同じ学校じゃつまらない。たまには、違う学校に行ってみたい。例えば、入口が滝になっていたり…こんな学校あったらいいな！学校が楽しくなる絵本。

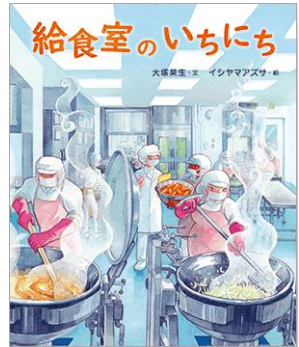


3

『給食室のいちにち』

大塚 菜生 文・ イシヤマ アズサ 絵 (少年写真新聞社)

子どもたちが楽しみにしている給食。おいしくて安全な給食を作り、子どもたちに届けるまでの給食室の様子や、そこで働く人たちの一日が描かれています。



4

『つきよのかいじゅう』

長 新太 作・絵 (佼成出版社)

湖のそばにテントを張り、10 年間、かいじゅうが出てくるのをを待ち続けた男。ある月夜、ついにかいじゅうは姿を現した。しかし、それは湖に住む…。笑いと美しい絵で心が開放される絵本。



5

『ドラゴン、火をはくのはやめて！』

上野 与志 文・ ヒョーゴノスケ 絵 (ポプラ社)

ドラゴンが火を吐くので、人々が暮らせなくなった小さな国。大好きな町を守るため、子ネコのミューと子どもたちは、ドラゴンに「火をはくのはやめて!」とおねがいに行くことに…。はたして、ドラゴンはその願いをきいてくれるのでしょうか？



6

『はなさかいさん』

山下 明生 文・ おくはら ゆめ 絵 (あかね書房)

気持ちのやさしいおじいさんとおばあさんに拾われて、大きくなった犬のシロ。ある日、シロが畑で激しくほえるので、不思議に思ったおじいさんが畑の隅を掘ってみると、大判・小判が出てきて…



7

『はやたろう』

堀切 兀 文・ 石井 勉 絵 (子どもの未来社)



信濃の寺で生まれ育った山犬の子は、やたろうは、磐田の天神様に巣くう恐ろしいバケモノを退治するため、勇敢に戦いを挑みます。長野県と静岡県で長年親しまれ、今も愛されるヒーロー犬の物語。

『野球しようぜ！大谷翔平ものがたり』

とりえ こうじ 文・ 山田 花菜 絵 (世界文化社)



目標をもって常に挑戦を続け、夢を叶えてきた野球選手、大谷翔平。投手、そして打者として前例のない偉業を成し遂げ続ける大谷選手の、幼少期から今に至るまでの軌跡をたどる絵本。

9

『かみなり』

妹尾 堅一郎 監修・
音羽電機工業「雷写真コンテスト」協力 (ポプラ社)

激しく光って、大きな音をとどろかせる雷。決定的瞬間をとらえた大迫力の写真で雷のひみつにせまる写真絵本。



10

『どうぶつのあしがたずかん』

加藤 由子 文・ ヒサ クニヒコ 絵・ 中川 志郎 監修
(岩崎書店)

動物園で子どもたちに人気の動物の足がたを実物大でのせた絵本。自分の足と比べながら読んでも楽しい。動物たちの園での暮らしも、イラスト付きで詳しく掲載。

